

語りあい、そして地域連携へ

高齢がん患者・家族の「あんしん」のために

高齢がん患者さんが安心して在宅に移行するためには、必要な相談支援やサービスがいつでも、どこでも受けられるような仕組みが必要であり、がんのピアサポーターもその中で、高齢がん患者さんの身近な存在として機能することができるはず。ピアサポーターが地域の医療・福祉分野の専門職との連携協力体制のもとで、高齢がん患者さんのよりよい在宅療養生活への移行を支援するためには、まず、お互いの役割を知ることが大切です。本事業では、ピアサポーターが地域の医療・福祉関係者と語りあう場を設け、連携によりどのような支援ができるのかを一緒に考えました。

1 回目は、がんのピアサポーターと、ピアサポートを導入しているがん診療（連携）拠点病院の相談支援ならびに退院支援などの担当者が、ともに学び、ともに語りあいました。

2 回目は、病院の退院支援や在宅移行支援の担当者、在宅医療・介護に携わる専門職の方々と、高齢がん患者さんの支援について、事例を元に一緒に検討しました。

語りあい 1 がんのピアサポーターとがん拠点病院の相談員が語りあう

「みんなで考えよう がん患者・家族のためのよりよい地域連携」

期日:2015年11月14日(土) 13:30~16:00

会場:愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター・視聴覚室

参加:35名 (ピアサポート導入病院9名 ピアサポーター23名 ミーネット3名)

語りあい 2 がんのピアサポーターと地域の医療・福祉関係者が語りあう

「みんなで考えよう 高齢がん患者さんを地域で支える取り組み」

期日:2016年2月27日(土) 14:00~16:30

会場:川本ホール 共催:地域緩和ケアネットワーク

参加:65名 (医療・福祉関係者34名 ピアサポーター26名 ミーネット5名)

